

くれあ通信

発行★株式会社クレア

〒351-0006 埼玉県朝霞市仲町1-11-48-303
 TEL / FAX 048 (485) 8540
<http://www.crea-nv.jp/>

くれあ通信

2010年
8月

Vol.5



「朝霞紹介」

2回程朝霞を
 離れまいたが、今回は
 朝霞に戻った。今
 月8月といえは祭
 各地で様々な祭
 があり、まず朝
 霞も「彩夏祭」
 (さいかさい)と題し
 て今年七月三日
 から八月一日の三日間
 開催されます。
 本祭は中日の三日
 でその日は花火も
 発上り年々
 人も増えてい
 るようです。

朝霞の祭の特徴の
 ついに「鳴子踊り」が
 あります。

今年から息子と二人
 で鳴子練習にわり
 前夜祭は朝霞駅
 前(東南口西方)
 踊ります。本祭日は
 大通りを通行止め
 にして約50組の
 人々が流し(歩きながら)
 の踊りが四方で見ら
 れます。踊子は遠く
 は他県からの参加
 もあり見ごたえ抜
 群です。
 是非一度朝霞の
 お祭りに参加しに
 おいで下さい!!

いつの間にか梅雨も
 あけ、夏まじかりの
 今日この頃、みな様
 おえびでお過ごし
 でしょうか。夏と言
 えば花火、各所で
 花火大会が催され
 ています。この花火
 その起源は中国
 のよう爆竹に
 始まったとされてい
 ます。日本では江
 戸時代から本格
 的に打ち上げら
 れていたそうです。

日本の花火は
 大層すばらしく
 一つの芸術と
 して感ぜられ
 ます。夏の
 夜の風物詩
 色々な所
 楽しみたいと思
 います。

「書評紹介」

第五回は伊坂幸太郎氏の
 「砂漠」です。
 春夏秋冬で区切られる各
 章を通じて、大学生五人の
 一年間を描く青春小説です。
 氏の作品の魅力はなんとも、
 もその軽快な文章ですが、
 本作でも十全に発揮され
 ています。特にユーモアあふれる
 から描かれる日常的な風景
 に心地よさを感じます。
 魅力的なキャラクター設定。す
 きりとした後読感。肩肘張ら
 ずに読み通せます。
 最近文庫本が出版されまし
 た。ぜひリラ、クスタイルのお供
 として。

「映画紹介」

今回は暑い夏のイメー
 ジから想起される日本
 の大監督小津安二郎
 の「東京物語」を取り
 上げます。この作品は
 家族をテーマに、老いや
 人の生を淡々と綴った
 作品で、日本独特の
 旧き良き哀愁ある
 風情と共に丁寧な
 撮りあげています。特
 に役者陣の好演が
 光っていて、父役の笠
 智衆、そして戦争で
 他界してしまっ、たそ
 の息子の妻役の原
 節子、さらに東山千
 栄子、杉村春子らの
 ベテランが脇を固め
 ています。小津は独特
 の感性を持っています。

それが「小津調」と呼
 ばれる技法を生み出
 し画面やセリフを
 席巻している訳で
 すが、この映画におい
 ては特にそれが息
 を飲む程マツチして
 いるの、ありこんでし
 ています。特に人物
 間の会話で見られ
 る徹底したミディア
 ムショットの切り返し
 の多用は、静謐な
 空間とそこに鎮座
 する人間の本質を
 ものの真事に射抜
 いていきます。終盤の
 父と義理の娘のやり
 取りは幾度見ても
 涙を禁じえませんが
 この季節に合う一本
 おすすりめいたします。